

令和3年度

# 事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

## 目 次

1 法人本部	
(1) -① 法人本部運営	1
(1) -② 地域における公益的な取組	5
(2) 障害者支援センター管理事業	6
2 障害者支援センター相談支援事業所	8
3 障害者支援センター多機能型事業所	
(1) 生活介護事業	9
(2) 自立訓練（生活訓練）事業	11
(3) 就労移行支援事業	13
(4) 就労継続支援B型事業	15
(5) 就労定着支援事業	17
4 銀河	
(1) 生活介護事業	18
(2) ガイドヘルプサービス事業所	20
5 障害者支援センター	
(1) 障害者地域就労援助センター事業	22
(2) 障害者就業・生活支援センター事業	27
(3) 地域障害者施設支援事業	29
(4) 手話通訳者等養成事業	32
(5) 基幹相談支援センター等事業	33
6 障害者一時ケア事業	37
7 発達障害支援センター就労支援事業	39
8 障害者相談支援キーテーション事業	41
9 けやき体育館	
(1) けやき体育館管理・運営事業	44
(2) 障害者余暇活動支援事業	47
○福祉研修センター研修一覧表	巻末

# 1 法人本部

## (1) - ①法人本部運営

### 1 事業概要

法人運営に係る評議員会、理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、職員の採用、育成、人事、労務管理を行った。また、人材の確保に向けた制度の創設や SDGs パートナー登録など法人として新たな取り組みを行った。

### 2 事業内容

#### (1)理事会の開催

開催日	出席・同意数/定数	主な議題
4月1日	理事 5/7 監事 1/2	・理事長及び常務理事の選定 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・常務理事業務分担規程の一部の改正
4月21日 (決議の省略)	理事 7/7 監事 2/2	・監事候補者の選任 ・臨時評議員会の招集
5月28日	理事 5/7 監事 2/2	・令和2年度事業報告、収支決算、監事監査報告 ・評議員候補者の推薦 ・理事及び監事候補者の推薦 ・定時評議員会の招集 ・定款第19条第4項に規定する報告
6月17日	理事 4/7 監事 2/2	・理事長及び常務理事の選定
3月18日	理事 6/7 監事 2/2	・組織規程の一部の改正 ・事務専決規程の一部の改正 ・障害者支援センター多機能型事業所、相談支援事業所(指定特定相談支援事業)(指定一般相談支援事業)(障害児相談支援事業)、銀河生活介護事業所、銀河ガイドヘルプサービス事業所の管理運営に関する規程の一部改正 ・令和4年度事業計画、収支予算 ・臨時評議員会の招集 ・理事候補者の選任 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・監事候補者の選任 ・定款第19条第4項に規定する報告

#### (2)評議員会の開催

開催日	出席・同意数/定数	主な議題
臨時評議員会 4月30日 (決議の省略)	評議員 8/8	・監事の選任
定時評議員会 6月17日	評議員 5/8	・令和2年度収支決算 ・理事の選任 ・監事の選任

臨時評議員会 3月28日 (決議の省略)	評議員 8/8	・理事の選任 ・監事の選任
----------------------------	---------	------------------

### (3) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席・同意数/定数	議 題
6月1日	委員3/3	・評議員の選任(8名)

### (4) 監査の実施

#### 監事監査

実施日	5月21日
実施者	法人監事2名(小野明雄氏、大崎ケイ子氏)
対 象	令和2年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	5月28日理事会に報告のとおり

### (5) 運営協議会の開催

開催日	出席者数/現在数	議題
11月18日(木)	8名/10名	・事業団が行っている事業について ・松が丘園の防災対策について ・地域との連携について

### (6) 人材の確保

ア 新規学卒者等を主な対象に1回目を実施した。福祉系資格保有者を対象に2回目を実施した。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員(1回目)	4月23日～6月21日	2名程度	11	1
正規職員・福祉職員(2回目)	12月15日～1月25日	2名程度	8	3
契約職員・生活支援員	10月、2月	若干名	11	5

イ 新規学卒卒の採用(内定)者への社会福祉主事資格取得のための通信教育の受講支援  
新規学卒卒の採用(内定)者に対して、入職と同時に基本的な福祉の知識を身に付け、現場のOJTとの相乗効果による研修の充実を目指し、社会福祉主事資格取得のための通信教育の受講料を全額負担する制度を新たに設けた。

### (7) 人材の育成

ア 職員研修の実施

研修区分		内容	参加人数
職場 研修 OJT	階層研修	・新規採用職員研修(法人内)	6
	法人本部 テーマ別 研修	・感染症対策セミナー(オンライン)	65
		・虐待防止セミナー	65
		・交通事故防止研修(オンライン)	65
職場外 研修	・神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	2	
OFF -JT	本部専門 研修 職場外	・新任主任研修(OJTスキルアップ)	4
		・新任主査研修(コーチング)	1
		・神奈川県相談支援従事者初任者研修・プレ研修	1
		・新任主任研修(コーチング)・障害福祉基礎研修(事業団開催)	1

所属専門 研修 職場外	・自閉症の特性理解	1
	・評価から支援へ	1
	・安全運転研修	2
	・構造化のアイデア	1
	・自閉症スペクトラム障害(ASD)のコミュニケーション支援	1
	・精神医学基礎研修 統合失調症	1
	・障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修	1
	・問題行動の理解と対応	1
	・苦情に求められる基本的視点	1
	・てんかん基礎講座	1
	・ひきこもり支援者研修会	1
	・精神障がい者支援の障がい特性と支援技法	1
	・失敗しない“人材採用”ここでしか聞けない採用活動のポイント	1
	・発達障害の理解と支援	1
	・自閉症スペクトラム(ASD)の基礎知識	1
	・福祉的就労と日中活動サービスの支援のあり方について	1
	・2021年度刑事司法ソーシャルワーク入門	1
	・相談支援体制づくりと人づくり	1
	・ワークサンプル幕張版(MWS)勉強会	1
	・神奈川県初級障がい者スポーツ指導者養成講習会	1
・相談支援・就業支援セミナー	1	
・障害のある学生の社会参加を目指して	1	
・神奈川県強度行動障害支援者養成研修	1	
・相談支援専門員専門コース別研修 意思決定支援	1	
・成人期に充実した毎日を過ごすために	1	

イ 資格取得(登録)の状況

公認心理師 2、社会福祉士 2、介護福祉士 1

(8)リスクマネジメント

ア 危機管理委員会

災害対策部会	感染症対策を踏まえた松が丘園・銀河の合同防災訓練の実施 災害備蓄食料のフードバンクへの提供(3回)
感染症対策部会	新型コロナウイルス感染症対策 (職員研修、物品確保、マニュアル作成)
虐待防止対策部会	部会作成の虐待防止啓発動画による研修実施、 セルフチェックリストと意見交換、意識啓発チラシ
交通事故防止対策部会	交通事故防止対策研修の実施、事故状況の共有と意識啓発

イ 苦情解決体制

第三者委員会による苦情等の状況報告と対応への助言

年	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的 サービス	施設の 管理運営	施設設備	その他	
R3	0	0	0	0	0	1
R2	0	0	0	0	0	1

ご意見・ご要望の内容

喫茶麦の穂への電話対応の回答方法への要望

ウ 事故及びヒヤリ・ハット報告の状況

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	ヒヤリ・ハット報告
R3	4	2	0	6
R2	4	4	0	8

エ 個人情報保護・開示  
開示申出件数:0 件

(9) 広報活動及び情報公開

- ア ホームページによる情報提供:年間 161 回
- イ 機関紙「こもれび」の発行:年間 1 回・2,000部・地域の方、関係機関等へ配布
- ウ 松が丘園祭:新型コロナウイルス感染症拡大防止措置によりオンラインを活用した事業団紹介やセミナー、展示放映イベント等の実施

(10) 職員の労務管理及び福利厚生

- ア 衛生委員会の開催:毎月 1 回開催
- イ ストレスチェックの実施:令和3年11月・対象者 68 人
- ウ 臨床心理士による職員なんでも相談の実施:相談件数 9 件(事業団 7 件 文化財団 2 件)  
(8月、9月は緊急事態宣言に伴い、中止)
- エ インフルエンザ予防接種費用の一部補助:利用者 21 人

(11) 利用者満足度調査(アンケート)の結果

実施期間:11月1日~30日

事業名	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ ある程度満足の割合
多機能型事業所	51	51	100%	92.2%
けやき体育館	140	114	81%	92.1%
銀河・生活介護事業所	42	30	71%	100%
障害者一時ケア事業	273	116	43%	93.1%

(12) その他

- ア SDGs パートナー登録  
SDGs の理念を踏まえ、地域課題の解決や誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに協力する団体として、「さがみはら SDGs パートナー」に登録し、相模原市や他の障害者福祉事業所との連携による、障害者の自立や社会参加のさらなる支援に取り組むとともに、災害時用備蓄食料のフードバンク等への提供を行った。
- イ かながわ障害者雇用優良企業の申請  
障害者雇用への積極的な取り組みの結果、令和3年度の障害者実雇用が 5.53%となり、「かながわ障害者雇用優良企業」の申請を行った。

# 1 法人本部

## (1)－② 地域における公益的な取組

### 1 事業概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、オンライン方式と対面方式で交流イベントを実施した。

### 2 事業内容

#### (1) 知的障害者フリースペース活動事業「まつカフェ」実施状況

年度	日時・内容	活動場所	参加者数
R3	9月4日(土)13:30～15:30 まつカフェ Online (カラオケ)	オンラインによる実施	7
	10月30日(土)13:30～15:30 好きな動画について話す会	松が丘園とオンラインによる実施 (ハイブリッド形式)	7
	11月27日(土)13:30～15:30 おすすめ動画で笑う会	松が丘園とオンラインによる実施 (ハイブリッド形式)	11
	12月25日(土)13:30～16:00 ボードゲームであそぶ会	松が丘園	15
	1月29日(土)13:30～16:00 ボードゲームであそぶ会	松が丘園	中止
R2	2月14日(日)13:30～15:30 まつカフェ Online (カラオケ)	オンラインによる実施	4

#### (2) プロジェクトチームでの運営

地域における公益的な取組を、地域課題への実践的なアプローチ方法として位置付けるために、日々利用者と接する就労相談・生活相談・余暇活動支援・通所支援部門の担当者によるプロジェクトチームで企画・運営した。

年度	開催回数	内容
R3	8	・運営テスト(ハイブリッド形式設定・感染症対策のための機材配置) ・イベント実施後のニーズ確認やイベント企画の調整など
R2	4	・新生活様式に対応した、知的障害者余暇支援についての企画会議 ・オンラインイベント実施に向けたニーズ調査・企画案作成 ・オンラインイベント実施準備(環境調整)

# 1 法人本部

## (2)障害者支援センター管理事業

### 1 事業概要

障害者支援センター松が丘園全体に係る統括及び施設の維持管理を適宜実施し、コロナ禍において、利用者に安全・安心であり、職員が働きやすい施設環境の整備を進めた。

### 2 事業内容

#### (1)松が丘園全体に係る統括

項目	内容	実施日等
安全運転研修	自動車教習所での実車体験と座学	送迎担当随時実施
衛生委員会	新型コロナウイルス感染症、メンタルヘルス	毎月1回
防災訓練(第1回)	火災想定、消火訓練、担架搬送訓練、水消火器による消火訓練	9/8・100名参加
防災訓練(第2回)	火災想定、消火訓練、担架搬送訓練、水消火器による消火訓練、防火シャッター稼働訓練	2/16・117名参加

#### (2)施設の維持管理

修繕・機器項目	内容	施行業者
消防用設備修繕	消火器交換修繕 自家発電設備燃料補給	河本総合防災
建物・館内修繕	多目的トイレユニバーサルシート修繕 厨房内トイレ手洗い器水栓修繕 保健室ミニキッチン入替 みんなのトイレ洗浄便座取替	野崎工業所
建物・館内修繕	玄関ホール点字タイル貼替 ロビー電動ロールスクリーン取替 研修室壁修繕 生活指導室改修 ケアルーム2改修	西野工務店
建物・館内修繕	ケアルーム1ロールカーテン交換	小林住設
建物・館内修繕	1階廊下コンセント修繕	わきざき電能サービス
災害備蓄品購入	福祉避難所用	相模設備工業

業務委託項目	内容	委託業者
清掃等	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	清美
警備	出入管理、巡回等警備 16:50~22:30	蒼鳳
機械警備	夜間機械警備 22:30~翌日 8:30	相模警備保障
一般廃棄物等回収、処理	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	ダストソリューション
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検	河本総合防災
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検	関東電気保安協会
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替	テクノ矢崎
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検、24時間遠隔監視	日立ビルシステム
樹木剪定	敷地内樹木剪定	相模植木
害虫駆除	館内・厨房害虫駆除	大清産業

(3)災害対策

福祉避難所での感染症対策を意識し、より安全に過ごせるよう備蓄品の精査を行い、必要物品の追加購入を行った。

(4)新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大予防として、施設の出入口に非接触型体温計を設置し、来館者及び職員に検温を実施した。また、食堂に飛沫防止スクリーンや、新たにテーブルを配置することにより、食事時のソーシャルディスタンスの確保に配慮した。

## 2 障害者支援センター相談支援事業所

### 1 事業概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び障害者支援施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の相談支援を行った。

(指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業、障害児相談支援事業)

### 2 事業内容

サービス等利用計画及び障害児支援利用計画作成の状況

コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き厚生労働省からの通知を参考にモニタリング等は電話を中心に行うとともに、訪問する際は、感染症対策を徹底した。また、支援機関との情報共有やサービス担当者会議等についても電話・FAXの他、オンラインも活用して実施した。

単位:人(3月末時点)

年度	契約者数	内 訳		
		サービス等利用計画の作成 (特定相談支援)	地域移行支援 (一般相談支援) (※)	障害児支援利用計画の作成 (障害児相談支援)
R3	294	275	0	19
R2	284	266	1	18

(※)年間対応実人数

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (1)生活介護事業

##### 1 事業概要

医療的ケアが必要な方を含む、重度の障害のある方の活動の場として、一人ひとりが豊かな生活が送れるよう、外出・創作活動等の日中活動、安楽な環境を支援するリラクゼーション(休息)や一人ひとりの状態に合わせた健康管理、医療的ケア、食事の提供を実施した。

##### 2 事業内容

##### (1)利用者登録者数(3月末日現在) 単位:人

年度	人数	うち 要医療的ケア
R3	17	10
R2	17	10

\*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

##### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R3	234	10	1,633	69.8%
R2	238	10	1,611	67.7%

※新型コロナウイルス感染症の為、3日間(6/23~6/25)休所した。

##### (3)入退所の状況

	人数	入所前の所属/退所先
入所	1	中央支援学校/新卒
退所	1	体調不良による退所

##### (4)提供したサービス内容

###### ア 日中プログラム

###### ① 近隣への外出・散歩

感染症対策を講じながら、淵野辺公園や近隣の散策を行った。

###### ② 創作活動・園芸活動等

(内容)

季節的活動	鯉のぼり飾りつけ、菖蒲湯で足湯、新茶の香りを楽しむ、七夕を楽しむ、涼を感じる制作、夏祭り、盆踊り、バーチャル花火大会、怪談話を楽しむ、秋の演奏会、名月を楽しもう、ハロウィン、バーチャルで行く冬の旅、クリスマス会、年賀状作成、書初め、正月遊び、節分豆まき、ひな祭りを楽しむ、花壇を利用した季節の花々の植栽等
その他	ゲームを楽しむ、楽しく体を動かそう、虫歯予防しよう、レクリエーション大会、映画鑑賞会、アロマで心地よさ探し、できるかな?実験しよう、カレンダー制作、リモート体験(初詣、世界旅行等)

###### ③ 社会体験

感染症対策を第一に考えた上、季節の移ろいを感じることを目的に、県立相模原公園にて散策を行った。

## イ 医療的ケア

栄養剤や水分、ミキサー食の注入や喀痰吸引等の医療的ケアを実施した。

(医療的ケアの実施状況)

単位:回

年度	注 入	吸 引	吸 入	酸素吸入	その他	合 計
R3	667	419	128	102	109 (人工呼吸器管理 28)	1,425
R2	614	383	123	23	157 (人工呼吸器管理 36)	1,300

## ウ 安楽な環境の支援

利用者に合わせた姿勢(ポジショニング)の調整やリラクゼーション等を実施した。ソーシャルディスタンスを保ちながら、安楽に休息等がとれる環境を整えた。また、コロナ対策検討会を年間3回実施し、ケアルームの温度調整や発熱者への対応等について検討を行った。

## エ 送迎

利用者の状況に応じて、リフト車等を利用して行った。新しい生活様式を取り入れ、車内の換気を徹底し、また、利用者の乗車定員を抑えることで、車内の密を避けた。

送迎時に利用者の状況について、家族との情報共有を行った。

(送迎回数)

単位:回

年度	リフト車	ワゴン車等	合 計
R3	1,175	286	1,461
R2	1,125	358	1,483

## (5)医療的ケア委員会

医療的ケアを安全かつ適正に実施するために、常務理事を委員長とし、管理職、担当職員、看護師、嘱託医を委員とする医療的ケア委員会を開催し、医療的ケアを必要とする新規利用者の利用の可否及び追加項目の審議を行った。また、安全確保の為、医療的ケア総括医である武井医師と情報交換を年間9回(書面開催2回含む)行った。

## (6)職員の資質向上

相模原市内において重症心身障害児者の支援に携わる職員に必要な知識・技術の習得及び専門性向上の為、支援技術向上研修(摂食・ポジショニング)をオンラインにて実施した。また、利用者個人のケアについて、過去のケア検討会(摂食・ポジショニング)の映像を用いて振り返りを行い、本人、家族との情報共有を行った。

## (7)関係機関との連携

### ア 重症心身障害児者ネットワーク会議

市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築を目的として実施し、感染症対策により書面開催とした。

(内容)

第1回 新規利用者の受け入れに関して困っていること

第2回 第1回の内容から「困りごと、他事業所への質問」について

第3回 意思決定支援、権利擁護・虐待防止を踏まえ工夫していること

第4回 次年度重心ネットワーク事業計画について

### イ 神奈川県重症心身障害児者協議会

コロナ禍における各施設の対応等の情報交換を、感染症対策によりオンライン又は書面開催で行った。

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (2) 自立訓練(生活訓練)事業

##### 1 事業概要

将来的に就労を目指す若年障害者等を対象に、基礎的な生活力を身につけられるような支援を行った。コロナ禍において、安全に配慮しながら、講座やプログラムを実施した。ライフサポート講座では、生活に必要な事務手続きを知ること、行政窓口や銀行での手続き等、利用者が持つ生活面の不安に対応した。

##### 2 事業内容

###### (1) 利用者数(3月末日現在) 単位:人

年度	利用者数
R3	9
R2	9

###### (2) 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R3	237	18	2,045	47.9%
R2	238	18	1,999	46.7%

###### (3) 提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム(企業受注作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R3	270,990円	108	2,509円
R2	187,650円	110	1,706円

###### イ 就労準備基礎プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
インターンシップ(職業体験)	けやき体育館(掃除)	延べ2人・6日
ビジネスマナー講座	就労の心構え、ルールとマナー、DVDで学ぶ「就労とは」、ビジネスマナー講座等	5月～3月 計5回
履歴書の書き方	氏名・住所・学歴・職歴等	1月26日

###### ウ 自立促進プログラム

事業名	実施回数
生活力を高める講座(制度について)	1回
コミュニケーショントレーニング	随時個別
金銭管理	随時
創作講座	40回
保健衛生講座(感染症予防対策)	1回
家事講座	7回

###### エ 資格取得促進プログラム

事業名	実施期間	修了者数(人)
ビルメンテナンス講座	6月～9月	9
介護職員初任者研修	10月～12月	2
サービスケアサポーター研修	10月～12月	9

オ 体力増進プログラム

事業名	実施回数
よさこい	55回
ストレッチ	200回

カ ライフサポート講座

事業名	実施日
ライフサポート講座(11回) 延べ98人	食育講座(4/22)、衛生管理(5/20)、 バーチャルレストラン(6/3)、食事マナーについて(7/8)、栄養について(8/26)、コンビニ弁当について(10/28)、グループホームを学ぶ(12/2)、季節の料理を知る(12/10)、生活に必要な事務手続き(1/21)、カロリーについて(1/27)、交通安全講座(3/4)、

キ その他

事業名	実施日
社会人研修	2月21日
地域との交流活動	3月31日(自治会連合会に活動紹介DVD配布)
余暇体験:余暇支援講座	3月24日

(4) 日常生活の支援(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業と共通)

ア 食事の提供

栄養士作成の献立によるバランスのとれた給食の提供を行った。  
(厨房業務委託業者:ハーベスト(株))

イ 健康管理

- ・総合健康診断 9回(8月)  
(5~6名の班に分かれ、総合相模更生病院にて受診)
- ・定期健康相談 精神科:3回/年

ウ 苦情解決・権利擁護

福祉オンブズマンネットワーク来所相談 8回(5月、6月、7月、10月、11月、12月、2月、3月)

エ その他

次年度多機能型事業所の利用契約説明会 3回(1月25日、1月28日、2月9日)

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (3)就労移行支援事業

##### 1 事業概要

一般就労を希望する障害者を対象に、就労にむけた各種プログラムを、コロナ対策を徹底しながら行った。コロナ禍により停滞していた就労の機会が回復すると共に、就労者の増加に繋がった。

##### 2 事業内容

###### (1)作業班別利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度		男	女	計	合計
R3	食品喫茶班	5	4	9	14
	企業受注班	1	4	5	
R2	食品喫茶班	8	3	11	16
	企業受注班	3	2	5	

###### (2)各月の利用者数の推移(当該月の最大値)

単位:人

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R3	22	19	19	19	17	17	15	14	15	14	14	14	16.6
R2	16	16	17	17	16	15	15	15	15	16	16	16	15.8

###### (3)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R3	237	18	3,370	79.0%
R2	238	18	3,291	76.8%

###### (4)就労状況

年度	人数	就労先
R3	7	三菱重工業(株)、医療法人相愛会相愛病院、(株)ホンダカーズ神奈川西、(株)ニコンつばさ工房相模原事業所、(株)JPR
R2	1	(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園

###### (5)提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム(食品喫茶作業、企業受注(箱折り等)作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R3	2,341,640 円	201	11,650 円
R2	2,567,050 円	185	13,876円

###### イ 就労準備プログラム

テーマ	場所・内容	実施人数・回数等
企業見学	福山通運(株)、(株)エルズエフ相模原、医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院、(株)ミートコンパニオン、(株)ヤオコー相模原鹿沼台店、(株)ホンダカーズ神奈川西、医療法人相愛会相愛病院、三菱重工業(株)MHIファシリティーサービス、けやきカフェ	延べ9回
インターンシップ	けやきカフェ	5人
ビジネスマナー講座	身だしなみ講座	随時実施

	清掃入門 面接練習	1回 随時実施
履歴書の書き方		随時実施
就労準備講座	就職ガイダンス(就職を目指すために必要な情報提供) 仕事を考える 目標管理シート 働く準備について 就職活動とは	随時実施 3回 5回 2回 1回

#### ウ 一般就労移行支援プログラム

テーマ	場所・内容	実施人数・回数等
面接対策講座		随時実施
企業実習	医療法人相愛会相愛病院 ㈱ヤオコー相模原鹿沼台店 ㈱ホンダカーズ神奈川西 ㈱第五電子工業 三菱重工業㈱MHIファシリティサービス ㈱ミートコンパニオン ㈱ニコンつばさ工房相模原事業所 ㈱JPR	1人 1人 1人 1人 3人 1人 1人 1人
求職活動支援		随時実施
職場定着支援	会社訪問、来所面談	延べ13人
就職ガイダンス	採用先に合わせた求職活動について	9回
職業評価		9人
TTAP	※TTAP:自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール (地域生活に必要なスキルの評価を行う検査)	1人

#### エ 自立促進プログラム

事業名	実施日・回数等
生活力アップ講座(感染症予防対策)	12月28日
こころのセルフマネジメント講座	個別実施
コミュニケーショントレーニング	随時
交通安全講座	3月4日
ビジネストレーニング(e-ラーニング)	随時

#### オ その他

事業名	実施日・回数等
社会人研修	2月21日
送別セレモニー	個別実施
余暇活動支援	8月6日
就労アセスメント	2回

#### (6)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「2-(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.12)

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (4)就労継続支援B型事業

##### 1 事業概要

障害種別を問わず、地域の潜在的な通所ニーズに対応した。生産活動を通して就労意欲や生産能力の向上を図り、利用者個々の要望に合わせた支援を行った。生産活動はコロナ禍により減少していた看板作業の受注数が増加した。新たに、講座「新生活様式のなかで生活するには」と「みだしなみ講座(新型コロナ予防編)」を行い、地域生活の質の向上に役立てた。

##### 2 事業内容

###### (1)利用者数(3月末日現在) 単位:人

年度	利用者数
R3	13
R2	15

###### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R3	237	14	2,539	76.5%
R2	238	14	2,453	73.6%

###### (3)提供したサービスの内容

###### ア 作業能力向上プログラム

###### ① 企業受注作業

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R3	2,056,850円	180	11,427円
R2	1,502,650円	167	8,998円

###### ② 新型コロナウイルス関連商品製作

自主製品の種類の増加(感染予防板、フェイスシールド)

###### ③ 個別の適性に配慮した作業展開 随時実施

###### イ 就労準備プログラム

事業名	実施人数・回数等
ビジネスマナー講座(清掃入門)	1人・1回
企業見学	2人・2回
インターンシップ(職業体験)	1人・3日
履歴書の書き方	1人・2回
就労準備講座	1人・1回

###### ウ 一般就労移行支援プログラム

事業名	実施人数・回数等
面接対策講座	1人・2回
企業実習	2人・10日
求職活動支援	随時実施

エ 自立促進プログラム

事業名	実施日・回数等
将来について考える講座「新生活様式のなかで生活するには」	1月20日
グループホーム紹介	1月21日
個別の見学援助及び情報提供	随時
ビジネストレーニング	随時
みだしなみ講座(新型コロナ予防編)	12月28日

オ その他

内容	実施日・回数等
社会人研修	2月21日
送別会	個別実施
利用者懇談会	4月28日、5月19日、6月9日、7月14日、9月8日、10月13日 11月17日、12月8日、1月12日、2月9日
社会体験	3月24日(博物館)
よさこい	4回(3人)

(4)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「2-(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.12)

### 3 障害者支援センター多機能型事業所

#### (5) 就労定着支援事業

##### 1 事業概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労へ移行した障害者に対し、相談や企業訪問を通じて企業や家庭等と連携を図り、働くことに伴う課題を確認し、就労定着に必要な支援を行った。新たに、オンラインを活用し、契約者が意見交換をする場を作り支援の幅を広げた。

##### 2 事業内容

##### (1) のべ契約者数 単位:人

年度	のべ契約者数
R3	25
R2	25

##### (2) 年間支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位:件

年度	企業訪問	来所	電話等	合計
R3	62	143	769	974
R2	49	158	872	1,079

##### (3) 支援企業状況

就 労 先	対象者数
(株)ビーネックスウィズ	2
(株)ラッシュジャパン	1
神奈川スタッフ(株)	1
(福)恩賜財団神奈川県同胞援護会相模原養護老人ホーム	1
(医社)小松会 小松会病院	1
昭和電線ケーブルシステム(株)相模原事業所	1
NECファシリティーズ(株)	1
(株)レンティック中部伊勢原事業所	1
(株)スリーエス・サンキュウ	1
(福)大地の会特別養護老人ホーム塩田ホーム	1
(株)丸和運輸機関	1
(株)ハートフルアクア	1
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	2
(株)ウエルストーンエクスプレス相模原営業所	1
(福)上溝緑寿会コスモスセンター特別養護老人ホームコスモスホーム	1
相模原市教育委員会教育センター	1
わらべや日洋(株)相模原工場	1
(株)富士薬品ドラッグストアセイムス南橋本店	1
(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	1
(株)カワタキコーポレーション相模センター	1
三菱重工業(株)MHIファシリティサービス(株)	3
医療法人相愛会相愛病院	1

##### (4) 就労生活定着プログラム(「オンラインしゃべり場」の開催)

実施日:2月5日 参加者:3人

## 4 銀河

### (1)生活介護事業

#### 1 事業概要

一人ひとりがその人らしい充実した生活を送れるよう、食事や排泄等の介護を実施して身体能力及び日常生活能力の維持・向上を図るための支援を行った。

個々の特性やニーズに応じた様々な活動を通して、利用者の社会参加を実現するための支援を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、活動班ごとの行事開催、施設内において少人数で行うイベントの実施、場所を分散しての給食の提供などの対策をとって支援した。

#### 2 事業内容

##### (1)利用者数(令和4年3月末現在) 単位:人

年度	利用者数
R3	41
R2	41

##### (2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R3	232	40	7,372	79.4%
R2	237	40	7,945	83.8%

※新型コロナウイルス感染症のため4日休所した。

##### (3)活動

###### ア 日常生活の支援

- ① 個別支援計画の作成(個別支援検討会 85回実施)
- ② 相談支援
- ③ 健康診断(11月19日)・健康相談(12回実施)

###### イ 送迎

送迎車5台で7コースの送迎を実施した。

###### ウ 食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。また、食事場所を分散し、間隔をあけて食事がとれるよう配慮した

###### エ 日中活動・活動プログラム

内 容	実施回数等
創作活動	ビーズや工作、小物、季節に合わせた作品等に取り組み
音楽活動	音楽鑑賞等
園芸活動	野菜の栽培や花木の手入れなどの園芸活動 花壇ボランティアの協力による「花のまちづくり、みどりいっぱい運動」への参加
健康づくり	ラジオ体操や散歩、ホールでのダンスなど
マイチョイス(音楽・体操・図工)	11回実施
レッツミュージック	11回実施
エクササイズ(体操・ヨガ・エアロビクス)	42回実施

オ 行事

内 容	実施回数等
バス旅行	中止
お楽しみイベント (お楽しみ外出)	10月～3月 13グループ (バーベキュー、ドライブ、お菓子作り等)
映画鑑賞	10回
お花見	淵野辺公園桜並木、芝桜等を楽しむ
夏祭り	8月23日～27日(各活動班で実施)
松が丘園祭	代替えイベント ・フランクフルトを食べよう ・ポップコーンを食べよう ・自主製品販売会
忘年会	12月10日～15日(各活動班で実施)
新年会	1月17日～21日(各活動班で実施)
お茶会	3月22日～25日(各活動班で実施)
浴衣撮影会	7月 21日～22日(各活動班で実施)
ハロウィン	10月19日～22日(各活動班で実施)
作品展示	・レストランあいで展示 ・銀河内作品展示 ・フジノ・ボーダレスアート「いろとりどり展」出展 11/6～3/6

カ 地域交流・ボランティア受け入れ

内 容	実施回数等
カット(理容)ボランティア	4回 延べ54名カット
花壇ボランティア	3回 7名
学生ボランティア(ふれあい体験)	11回 19名

キ その他

- ① 福祉オンブズマンネットワーク活用<年7回来所>
- ② 利用者満足度調査の実施<年1回実施>
- ③ 防災訓練の実施<防災訓練2回、避難訓練9回>
- ④ 「銀河だより」発行<3回発行>
- ⑤ 家族報告会(活動紹介DVD配布及び書面での意見要望聞き取り)

実施月	出席者等
9月	DVD配布 24名
3月	DVD配布 24名

- ⑥ 学生実習受け入れ  
介護等体験実習 19名(延べ134日)
- ⑦ 見学受け入れ  
支援学校、他施設職員等の見学(オンライン見学会含む) 30名

ク 研修

外部派遣研修	・強度行動障害支援者養成研修(実践研修) 1名 ・安全運転講習 2名 ・その他研修(てんかん研修、苦情解決など) 4名
内部研修	・安全運転研修 11回 ・研修報告会 1回 ・その他研修 1回

## 4 銀河

### (2)ガイドヘルプサービス事業所

#### 1 事業概要

移動・外出に困難を有する障害児・者を対象に、移動の援護、排泄・食事の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを派遣した。新型コロナウイルス感染症の対応では、感染状況や感染予防についての情報提供、感染予防物品の配布等の対策を講じ、緊急事態宣言などに応じて派遣を行った。

また、登録ヘルパー向け定期研修は、集合研修及び配信や資料配布で実施し、資格取得のための「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」は感染対策を講じて実施した。

#### 2 事業内容

##### (1)ガイドヘルパーの利用件数及び利用時間

新型コロナウイルス感染予防のための外出自粛が大きく影響した。利用件数は前年度の102%、利用時間は前年度の120%となったが、例年と比較すると、件数、時間数ともに半分程度となっている。

##### ア 身体障害者 ( )は同行援護の状況

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R3	63	2,193	7,735時間30分	3時間32分
	(59)	(2,159)	(7,631時間00分)	(3時間32分)
R2	62	2,177	6,494時間00分	2時間59分
	(58)	(2,155)	(6,421時間00分)	(2時間59分)

##### イ 知的障害者

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R3	37	421	1,061時間00分	2時間31分
R2	37	383	845時間00分	2時間12分

##### ウ 障害児

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R3	1	0	0時間00分	0時間00分
R2	1	0	0時間00分	0時間00分

##### エ 合計

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R3	101	2,614	8,796時間30分	3時間22分
R2	100	2,560	7,339時間00分	2時間52分

##### (2)ガイドヘルプサービスの質の向上

ガイドの質を向上するために、登録ヘルパーを対象に年4回の定期研修を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、集合研修と、配信や資料配布で実施した。

実施日	内容	人数
4月	「登録ガイドヘルパーマニュアル」の説明	48
8月	・セルフメンタルヘルスケア ・虐待防止セルフチェックリスト	48

11月	・同行援護フォローアップ研修	32
2月	・虐待防止セルフチェックリスト ・虐待防止啓発チラシ配布	49
合計4回	—	177

### (3)資格取得研修の開催

知的障害者ガイドヘルパー養成研修は、感染防止措置を講じ、定員を減らして実施した。同行援護従業者養成研修は実施予定であったが、受講希望者が催行予定人数に達しなかったため中止した。

#### ア 同行援護従業者養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
中止		

#### イ 知的障害者ガイドヘルパー養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
11月7日～11月30日 (上記期間中のうち3日間)	講義(13時間) 実習(6時間)	8

### (4)登録ガイドヘルパーの確保

ガイドヘルパーを確保するために、年間を通して募集を行った。

年度	登録ヘルパー数(3月末現在)
R3	49
R2	56

## 5 障害者支援センター

### (1)障害者地域就労援助センター事業

#### 1 事業概要

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図りながら、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行うとともに、市内の就労移行支援事業所への支援、定着支援事業との連携もあわせて行った。また、けやき体育館との連携としての相談窓口の開設を行ったほか、新型コロナウイルスの影響を考慮した利用者等の支援を行った

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

#### 2 事業内容

##### (1)事業所開拓の状況

本人の希望と適性に合った企業を開拓し、利用者の職域拡大と適職に就くための支援を行った。

単位:件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R3	1,485	38	8
R2	1,324	41	1

##### (2)就労状況

就労者数は昨年度比で約1割減少しているが、継続的な相談を経て就職に至った精神障害者等の数は前年度より増加(17名→19名)している。

単位:人

年度	就労者
R3	62(7)
R2	70(1)

\*1 ( )は障害者支援センター多機能型事業所の登録者の就労及びトライアル雇用の状況

\*2 就労継続支援A型事業所への就労者は含まない。

##### (3)就労後の支援状況

令和3年度の主な就労先	所在地
コニカミノルタウィズユー(株)	八王子市
(株)土屋製作	綾瀬市
クリエイトビギン(株)秦野渋沢事業所	秦野市
ABC マートアリオ橋本店	緑区大山町
横河レンタリース(株)相模原事業所	中央区矢部
(株)三和南橋本店	中央区南橋本
(株)ウエルストーンエクスプレス相模原営業所	中央区清新
ニチベイハーモニー(株)	愛甲郡愛川町
学校法人聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区
(株)クローバーコネクト	座間市
横浜トヨペット(株)橋本 U-Car 店	中央区清新
三菱重工業(株)	中央区田名
マルテー大塚(株)(日建リース工業(株)は一とふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
東レ(株)(日建リース工業(株)は一とふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
明光産業(株)	愛甲郡愛川町

イフスコヘルスケア(株)アズハイム町田	町田市
オーケーストア(株)下九沢店	中央区下九沢
ニコンつばさ工房相模原事業所	南区麻溝台
ソーシャルインクルーホーム座間四ツ谷	座間市
相愛会相愛病院	南区当麻
富士機械(株)(日建リース工業(株)はーとふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
アッサンプラーヂュ厚木西	厚木市
福山通運(株)相模原支店	南区大野台
ヒトコミュニケーションズ(株)	横浜市西区
日建リース工業(株)はーとふる農園愛川	愛甲郡愛川町
ケイアイスター不動産(株) (日建リース工業(株)はーとふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
U-select 相模原中央店	中央区相生
(株)ワールドスタッフィング横浜港北事業所	横浜市都筑区
(株)サンセイランディック (日建リース工業(株)はーとふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
神奈川県(神奈川県立相模原高等学校)	中央区横山
セリア西橋本店	緑区西橋本
昭和電線ケーブルシステムズ(株)相模原事業所	中央区南橋本
(株)三和興産	中央区宮下本町
サンライフ	南区古淵
海老名総合病院	海老名市
町田市民病院	町田市
(株)オハラ	中央区小山
オープンハウス・アーキテクト (スタートライン八王子第一センター内)	八王子市
相模原市社会福祉事業団	中央区松が丘
医療法人財団明理会 介護老人保健施設相模原ロイヤルケアセンター	緑区大島
ハイウェイロイヤル(株)	海老名市
(株)ウエルフューチャー プラチナライフ橋本二本松	緑区二本松
(株)銀しゃり相模原工場	南区当麻
モランボン(株)神奈川工場	緑区橋本台
地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター付属看護専門学校	東京都新宿区
近鉄エクスプレス (スタートライン IBUKI EBINAFARM3 内)	海老名市
(株)JPR	町田市
物語コーポレーション(株)(お好み焼本舗相模原店)	中央区矢部
SCSK サービスウェア(株)	八王子市
神奈川県(神奈川県立川和高等学校)	横浜市都筑区
サンテレフォン(日建リース工業(株)はーとふる農園愛川内)	愛甲郡愛川町
アマノ(株)イノベーション開発センターアグリ事業準備室	緑区大島
川崎市役所(多摩区役所地域みまもり支援センター保護課)	川崎市多摩区
新百合ヶ丘総合病院	川崎市麻生区

就労者の職場定着を支援するため、企業への定期的な巡回訪問や、就労者からの相談等に対応した。

就労援助センターを利用して就労した者のほか、他機関の支援により就労した者の定着支援の引継ぎが年々増えていることから、支援の対象となる在職者は増加傾向にある。

在職者数 (令和4年3月31日現在)	691人
-----------------------	------

年度	企業訪問等	その他	合計
R3	1,472件	1,281件	2,753件
R2	1,424件	1,361件	2,785件

#### (4) 職場実習の実施

年度	対象者数	延べ日数
R3	43	200
R2	34	159

実習先	対象者数
(株)JPR	1
相愛会相愛病院	1
福山通運(株)	1
セリア西橋本店	1
新百合ヶ丘総合病院	1
ニコンつばさ工房横浜事業所	1
ニコンつばさ工房相模原事業所	2
ヤオコー下九沢店	1
相模原市勤労者福祉サービスセンター	9
けやきカフェ	8
日本郵政(株)八王子南郵便局	1
けやき体育館	1
相模原市社会福祉事業団	1
日建リース工業(株)はーとふる農園	14

#### (5) 就労援助センター利用状況

体験実習等の取組みを推進した結果、作業室利用者数が増加した。

年度	新規相談者数	新規登録者数	作業室利用者数
R3	95	85	延べ 219
R2	120	117	延べ 51

#### ア 新規相談者の状況

##### ① 所属別

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	不明	合計
R3	0	11	36	33	15	0	95
R2	2	16	53	31	18	0	120

##### ② 障害別

単位:人

年度	知的障害	身体障害	精神障害	その他	合計
R3	40	11	39	5	95
R2	65	7	45	3	120

③ 年齢別

単位:人

年度	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	不明	合計
R3	20	32	26	9	8	0	95
R2	25	37	26	20	12	0	120

イ 新規登録者の状況 <所属別>

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	合計
R3	0	14	50	21	0	85
R2	0	8	80	29	0	117

<参考>令和4年3月31日現在の登録者数 1039人

ウ 就労準備プログラムの実施

年度	延べ参加者数	講座回数	主な内容
R3	9	4	相模原市勤労者福祉サービスセンターでの職場体験
R2	17	4	相模原市勤労者福祉サービスセンターでの職場体験

(6) 無料職業紹介事業

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R3	15	30	85	30	30
R2	13	20	116	20	20

(7) その他の事業

ア 社会生活技能訓練(SST講座)の実施

実施日	参加者数	内容
11月6日	3	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座①
11月20日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座②
12月4日	3	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座③

イ 就労援助センター情報の発行

発行月	配布先
5月・8月・11月・2月	就労援助センター登録者

ウ フォローアッププログラム(余暇的定着支援)の実施

実施日	参加者数	実施方法	内容
8月2日～23日	6	メール	「自分の好きな色」をテーマに写真を撮ろう
9月8日～10月8日	10	郵送	体を動かそう～ちょっとした時間にできるストレッチ
10月23日	11	対面式+オンライン	ホームカミングデー「オンライン体験」
12月5日	2	オンライン	オンラインを使ってみよう!
2月1日～28日	181	郵送	アンケート「フォローアッププログラムでやりたいこと/オンライン状況」
3月5日	-	-	「ハーバリウムを作ろう」(精神対象)【中止】

エ 関係機関等主催会議への参加

日時	参加回数	実施方法	内容
4月27日ほか	5	対面式	さがみはら精神障害者就労支援協議会への参加
12月27日	1	対面式	相模原市難病対策地域協議会への参加

オ 緑障害者相談支援キーステーションにおける就労相談の実施

就労相談機能拡充の一環として、緑障害者相談支援キーステーション内に就労相談窓口を設置し、相模原市津久井方面の就労相談者に対応した。

年度	新規相談件数	継続相談件数
R3	11	49
R2	12	69

カ 障害者地域就労援助・けやき相談センターにおける就労支援の実施

市役所周辺における障害者就労相談の利便性向上を目指して、けやき体育館内に、就労相談窓口を開設し、就労相談者に対応した。(令和3年10月開設)

年度	新規相談件数	継続相談件数
R3	2	35

キ 精神保健福祉センターとの連携

精神保健福祉センターと連携し、在宅の精神障害者を対象に、就労への意欲向上、社会参加への動機付けを促進するため、企業内での実習を行った。

年度	延べ協力企業数	延べ参加者数
R3	1社	5名
R2	1社	6名

ク 大学等、在学中の学生支援に関する連携と支援

年度	訪問等回数	連携先
R3	4	相模女子大学、青山学院大学
R2	2	麻布大学、チャレンジドジャパン相模原センター

ケ 研修講師対応

依頼元	実施日	内容
神奈川県 産業労働局産業人材課	12月2日	令和3年度職業訓練指導員研修(精神障害者等支援サポート研修) 「障がい者への就労支援・定着支援の現状について」
独)高齢・障害・求職者 雇用支援機構 雇用開発推進部	1月18日	令和3年度オンライン形式による障害者職業生活相談員資格認定講習(本部開催)
	2月24日	「職業生活における生活指導」

## 5 障害者支援センター

### (2)障害者就業・生活支援センター事業

#### 1 事業概要

就職を希望する障害者や在職中の障害者に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、主任職場定着支援担当者の配置、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。また、電話やオンラインツールの活用を継続し、障害者、企業、関係機関の円滑なつながりを支援するとともに、新しい働き方を考慮した企業等の支援の充実を図った。

なお、「就労援助センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

#### 2 事業内容

(1)事業所開拓の状況 ～ (6)無料職業紹介事業 については、  
5-(1)障害者地域就労援助センター事業の内容を参照(p.22～25)

#### (7)地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等

名称	主催	実施日	開催方法	出席者	内容
相模原障害者 就労支援連絡会	当センター	7月27日	オンライン	24機関	①各事業所の就労支援状況について②就労移行支援事業所合同説明会について③就労継続支援A、B型の就労促進へのアプローチについて
情報共有化会議	当センター	6月15日	オンライン	6機関	就労移行支援事業所合同説明会等
		10月28日	対面式	7機関	ハローワークと就労移行支援事業所の連携について等
就労援助セミナー	当センター	2月25日	オンライン	10名	「就業・生活支援センター概要」研修講師
中小企業における 障害者支援担当者 に対する支援	神奈川県 と共催	11月17日	対面式	25社	「視覚障がい者の学ぶ場・働く場見学会」研修講師
神奈川県障害者 就業・生活支援セ ンター連絡会議	神奈川 労働局	8月23日 1月12日 3月2日	オンライン	8機関	各センターの取組状況、学校等との連携等
神奈川県障害者 就業・生活支援セ ンター勉強会	県内就業・ 生活支援 センター合 同開催	11月18日 11月25日	対面式	8機関	ワークサンプル幕張版(MWS)の実施方法について

就労移行支援事業所合同説明会	当センター	1月14日～ 2月28日	動画配信	申込数 31名 再生数 108回	就労移行支援事業所についての理解促進と市内15か所の事業所情報提供
----------------	-------	-----------------	------	---------------------------	-----------------------------------

※7月に神奈川県と共催予定であった「障害者雇用のための企業交流会(相模原・県央地域)」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

## (8)職場定着及び就労促進に係る効果的な支援メニューの実施

### ア 交流会の実施

実施日	参加者数	実施方式	内容
9月8日～10月8日	10	郵送	体を動かそう～ちょっとした時間にできるストレッチ～
10月23日	11	対面式+オンライン	ホームカミングデー「オンライン体験」
12月5日	2	オンライン	「オンラインを使ってみよう！」
3月5日	—	—	「ハーバリウムを作ろう」(精神障害者対象) 【中止】

### イ ピアサポート活動の実施

実施日	参加者数	実施方式	内容
1月21日	6	対面式	精神障害当事者を講師として、「仕事について」をテーマとした登録者を対象とした研修会

## (9)障害者就業支援アドバイザーの設置

日時	実施場所	内容
5月21日 ほか	松が丘園	障害者就業支援アドバイザーの鎗木宏氏(精神科医)から、個々の精神疾患に係る対応方法について担当職員が助言を受けた。 (5月21日、8月13日 11月5日 2月4日の計4回実施)

## (10)国等が主催する会議・研修等への出席

日時	主催	実施方式	内容
①11月1日 ②3月28日	神奈川県労働局	①対面式 ②オンライン	都道府県連絡会議
11月26日	厚生労働省	オンライン	障害者就業・生活支援センター 南関東ブロック会議
1月26日	厚生労働省	オンライン	主任職場定着支援担当者経験交流会
6月22日～24日	独)高齢・障害・求職者雇用支援	対面式 (集合研修)	就業支援担当者研修

## (11)その他

### ア 地域連携のためのワンストップ相談

日時	実施場所	内容
10月1日 1月14日	ハローワーク相模原	ハローワーク相模原、神奈川県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターの連携による相談

### イ 職場実習合同面接会

日時	実施場所	主催	参加者	内容
2月4日	けやき体育館	ハローワーク相模原と共催	企業:8社 求職者:延べ57名	求職者の職場体験の機会確保と企業理解促進を目的として実施

## 5 障害者支援センター

### (3)地域障害者施設支援事業

#### 1 事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内障害福祉従事者の支援技術を向上し、地域の福祉力を高めるとともに、市民等を対象にした障害福祉への理解を促進するための研修、障害当事者やその家族への情報提供を目的とした研修を実施した。また、障害福祉サービス事業所の人材確保、工賃アップに向けた支援及び障害福祉サービス事業所や団体の活動支援を行った。

新型コロナウイルス感染症対策については、オンラインを活用し研修や講座を開催した。開催方法については、動画配信なども取り入れ、多くの方々が、研修を受講できるよう、開催方法を工夫した。情報提供についてはメールを活用し、会議等はオンラインにより実施した。

#### 2 事業内容

##### (1)福祉研修センター事業

###### ア 主催研修の実施

地域ニーズの状況を把握し、新しい生活様式に合わせたオンライン研修等の研修形態で効果的な研修を実施した。また、オンライン研修を受講するための研修を実施し、受講環境を整えた。障害福祉基礎研修Ⅰは、受講機会を拡大するために、フォローアップ研修を実施した。

年度	開催回数	参加者数	主な内容
R3	55回	886人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉基礎研修・フォローアップ研修 25回</li> <li>・支援技術向上研修 16回</li> <li>・その他研修 10回</li> <li>・障害当事者・家族・市民向け研修 4回</li> </ul>
R2	44回	782人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉基礎研修 19回</li> <li>・支援技術向上研修 5回</li> <li>・特別研修 2回</li> <li>・障害当事者、家族、市民等向け研修 18回</li> </ul>

※令和3年度実施状況の詳細は巻末の研修一覧表参照

###### イ 研修受講履歴カードと研修受講修了証の作成

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R3	11人	32件	10人
R2	52人	91件	1人

###### ウ 研修情報の集約と発信

福祉研修センターが主催する研修のほか、関係機関・団体等が開催する障害福祉関連の研修情報を取りまとめ、毎月1回「研修情報定期便」として、障害福祉サービス事業所に情報提供を行った。また、メールを活用した研修情報案内のニーズに対応し、研修周知方法の拡大を図った。

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R3	124(17)件	5,138か所
R2	54(11)件	3,523か所

###### エ 福祉研修センター事業 意見交換会

市内の障害福祉団体及び障害福祉関係者に学識経験者を交えて、福祉研修事業に関する意見交換会を実施した。

オ 研修に関する企画支援

市内の障害福祉サービス事業所・団体等で開催する研修の企画支援を実施した。団体等の要望に応じ、事業団職員を研修の講師などとして派遣をした。

①研修実施支援

年度	回数	相談内容
R3	28回	講師選定、研修の周知方法、オンライン研修の実施方法
R2	20回	講師選定、研修の周知方法、他の研修実施機関

②派遣実績

年度	回数	主な派遣先
R3	42回	神奈川県 ほか
R2	17回	神奈川県 ほか

カ 強度行動障害支援者養成研修

市の委託事業として、県の事業者指定を受けて強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を実施した。

年度	実施日			会場		
R3	2月28日(月)、3月1日(火)			障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	講師補助者数	申込者数	受講者数	修了者数
	12	12人	5人	45人	28人	28人
R2	12月14日(月)、12月15日(火)			障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	講師補助者数	申込者数	受講者数	修了者数
	15	11人	8人	60人	27人	26人

(2)障害福祉サービス事業所等人材確保事業

けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」について、市内障害福祉サービス事業所に周知した。

(3)工賃アップ支援事業

市内の障害福祉サービス事業所等が生産活動を充実し、利用者の工賃アップにつながるための支援を行った。

ア 受注作業・自主製品作業紹介事業

官公需の受注や市内の企業への訪問などによる作業の開拓を行う受注調整窓口を設置し、受注を希望する障害福祉サービス事業所等へ作業の紹介を行った。また、新たに施設外就労等の作業開拓を促進した。

市内障害福祉サービス事業所等の作業希望一覧表作成や、新しい生活様式に即した作業種目の開発、施設外での作業の開拓を強化したことで、企業からの紹介件数が増加した。

年度	紹介件数	主な内容
R3	160件	さといも出荷前作業、ピッキング、除草、感染症予防板作成、基盤等の梱包、パンフレット折り ほか
R2	118件	ポスティング、ラベル貼り、シール貼り、感染症予防板作成、フェイスシールドフレーム加工、がん検診クーポン封入、樹木の伐採、除草、トイレ清掃、プリント基板製造 ほか

イ パオバブ・福祉ショップあおば・麦の穂・販売会年間売上額 単位:円

年度	ハンドメイド ショップ パオバブ (あじさい会館)	福祉ショップ あおば (ユーコープ 並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	合計
R3	8,799,710	743,740	348,450	9,891,900
R2	8,535,315	1,847,890	332,490	10,715,695

ウ 生産活動に関する情報交換会の開催

就労継続支援 B 型事業所及び地域活動支援センターを対象に、市内の緑区、中央区、南区の各区で、生産活動に関する課題の共有及び情報交換を実施した。障害福祉サービス事業所から運営についての意見交換開催について意向があり、商店街との地域連携についての実践報告会に繋がった。

エ 市内受注作業希望一覧表の作成

相模原市内障害福祉サービス事業所等の作業希望一覧表を各区および作業種別に一覧表を作成し、企業および行政機関等に周知した。

オ 環境に配慮した商品および新しい生活様式のニーズに合わせた作業種目の開発支援

環境に配慮した商品として、布ラッピングの開発を支援し、自主製品の販売促進に寄与した。感染予防板、缶バッチ等、利用する方のニーズにあわせた受注販売を促進した。

カ 就労継続支援 B 型事業所向けの工賃アップに関する研修

相模原市内就労継続支援 B 型および地域活動支援センターⅢ型の職員向けに生産活動に関する研修会を実施した。

キ 地域ニーズに合わせた作業の開拓

SDGs の取り組みとして、相模原市内の起業支援を実施している機関からの除草作業および花植え作業を開拓した。また市内保育園からの依頼により、保育園のニーズに合わせたパンを開発し受注に繋がった。

(4)地域作業所等の運営に関する支援・相談事業

年度	運営相談件数	地域活動支援センター等 運営委員会への出席回数	事務機器の提供件数
R3	4件	0回	124件
R2	2件	0回(全て書面表決)	126件

(5)団体への支援

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会・相模原福祉オンブズマンネットワーク

年度	会議等の開催回数	事業等の支援回数
R3	55回	13回
R2	54回	6回

(6)松が丘園通信の発行

発行月	配布先
4月・6月・8月・10月・12月・2月	障害福祉サービス事業所・行政機関等の関係機関

## 5 障害者支援センター

### (4)手話通訳者等養成事業

#### 1 事業概要

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加を促進するために必要な手話通訳者および要約筆記者の人材育成を行った。新型コロナウイルス感染症対策として、広い会場で遮蔽板やフェースシールド等を活用し、講座を開催した。また、継続開催をめざし、オンラインも活用した。

#### 2 事業内容

単位:人

年度	内容	受講者数	修了者数
R3	手話講座・初級 (火曜日 10:00~12:00・全 28 回)	25	16
	手話講座・中級(基礎編) (金曜日 19:30~21:30・全 30 回)	13	10
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全 33 回)	5	5
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	4	2
	要約筆記者養成講座(手書きコース) *1 (木曜日 10:00~12:00・全 32 回)	8	-
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) *1 (木曜日 10:00~12:00・全 48 回)	2	-
R2	手話講座・初級 *2 (金曜日 19:30~21:30・全 14 回)	19	-
	手話講座・中級(基礎編) *2 (火曜日 10:00~12:00・全 14 回)	23	-
	手話講座・フォローアップ *2 (水曜日 10:00~12:00・全 18 回)	7	-
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	4	1
	要約筆記者養成講座(手書きコース) *3 *4 (木曜日 10:00~12:00・全 17 回)	5	-
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) *3 (木曜日 10:00~12:00・全 17 回)	7	4

\*1 コロナ禍により、開催時期を変更し実施(R3.10~R4.6)

\*2 緊急事態宣言の発出等により、講座を中止したことで、打ち切りとなった

\*3 コロナ禍により、開催時期を変更し実施(R2.10~R3.7)

\*4 受講辞退者が出たため、R3.1 に中止となった

## 5 障害者支援センター

### (5) 基幹相談支援センター等事業

#### 1 事業概要

地域における相談支援の中核的な役割を担うため、総合的かつ専門的な相談支援を行うとともに、人材育成の取組、関係機関とのネットワークの構築、相模原市障害者自立支援協議会の運営等を行った。コロナウィルス感染防止対策として、訪問のほか電話等による相談支援を実施した。また、自立支援協議会を始めとする会議や各種研修、講座などはオンラインも活用して実施した。

#### 2 事業内容

##### (1) 基幹相談支援センターの運営

###### ア 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援を実施した。

単位:件

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 3	9,370	30	1,581	711	280	545	311	3,246
R 2	10,585	189	2,120	1,028	191	1,281	453	3,299

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	ピアカウンセリング	その他の支援	支援に関わる関係機関との連絡調整	合計
R 3	629	145	579	0	178	4,941	22,546
R 2	802	212	397	0	270	4,911	25,738

※件数は、「2 障害者支援センター相談支援事業所」(p.8 記載)に係る相談を含む

##### イ 虐待防止・権利擁護に関する研修

相模原市内の支援者等に対し、虐待防止・権利擁護の意識向上を図るための研修をオンラインも活用して実施した。

年度	開催回数	内 容
R3	6	従事者コース(4回)(*)、利用者向け研修、民生委員向け研修
R2	11	従事者コース(9回うち同内容複数回実施)(*)、管理者向け研修(*)、養護者向け研修(*)

\*は福祉研修センター研修一覧表再掲

##### ウ スーパーバイザー派遣事業

地域の相談支援事業所等が行う相談支援において専門的な助言が必要な場合に、支援方法の検討・助言、情報提供を行うためにオンラインや電話も活用し相談員を派遣した。共働による相談支援や連携強化の取組の積み重ねにより、相談支援事業所からの相談が増加した。

年度	内 容	件数
R3	支援方法の検討・助言、情報提供	144
R2	支援方法の検討・助言、情報提供	101

エ 基幹相談支援センタースーパーバイズ研修

相談支援専門員の地域リーダーを養成するための研修を実施した。

年度	内容	回数
R3	相模原市の地域課題について考えよう（＊）	1
R2	主任相談支援専門員	1

＊は福祉研修センター研修一覧表再掲

オ 基幹相談支援センター相談支援専門分野研修

専門的な知識を基にした相談支援方法を学ぶための研修を実施した。

年度	内容	回数
R3	事例を通してアプローチ方法を学ぼう	1
R2	家族療法入門講座	3

カ 相談支援専門員研修への運営協力

相談支援従事者研修の実践指導者を養成するとともに、地域に根ざした相談支援専門員を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者研修へファシリテーターを派遣した。

年度	内容	コース数・派遣人数
R3	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	1コース 1名
R2	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	1コース 2名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名

キ 相談支援従事者初任者研修受講者への強化研修

相談支援従事者初任者研修受講者に対し、相談支援に係る基本的な理解を深めるとともに、受講者等のネットワークを構築し連携を強化するための研修を実施した。

年度	内容	回数
R3	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	3
R2	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	2

ク 実践報告会

新たな取組として、所内相談支援専門員の相談支援技術向上のため、相談支援における実践や、新たな知識や技術などを伝える実践報告会を実施した。

年度	内容	回数
R3	実践報告会	6

ケ 相談機関等とのネットワーク強化の取組

相談支援事業所等に対し、情報提供や情報収集を行った。

年度	内容	件数
R3	事業所等への訪問・電話・オンライン等対応 ※コロナウィルス感染拡大防止のため、訪問以外の取組を行った	70
R2	事業所等への訪問・電話等対応 ※コロナウィルス感染拡大防止のため、訪問以外の取組を行った	35

コ 相談支援事業所等支援の取組

相談支援専門員等に向けて、障害福祉サービス事業所等の空き情報や業務に役立つ資料等を掲載し、相談支援業務のサポート等を行った。感染症対策を講じたうえで、新規利用者の受け入れなどを再開した事業所が多く、件数が増加した。

年度	内容	件数
R 3	事業所等の空き情報の更新	196
R 2	事業所等の空き情報の更新	89

(2)相談支援体制整備事業

相模原市障害者自立支援協議会を相模原市と協働運営し、地域における安心した暮らしを支えるため、障害福祉に従事する者・障害者・家族等が支援体制の整備に向けた取組を行った。コロナウィルス感染拡大防止のため、オンライン会議を中心に実施した。

年度	開催回数	内容
R3	45	全体会 運営会議（*） 権利擁護・虐待防止検討部会（*） 地域課題調整部会（*） 人材育成部会 区課題検討会(緑区・中央区・南区)（*） 研修(福祉研修センター共催研修)
R2	47	全体会 運営会議 権利擁護・虐待防止検討部会（*） 地域課題調整部会 人材育成部会 区課題検討会(緑区・中央区・南区)（*） 研修(福祉研修センター共催研修)

\*はワーキングチーム活動含む

(3)社会生活力を高める事業

ア 生活力アップ講座

当事者のエンパワメントの促進や本人と家族が地域で安心して生活するために各種講座をオンラインの活用を中心に実施した。オンラインに慣れていない家族や当事者等に対し、オンライン講座に参加しやすいよう個別に学ぶ時間を設けた。

※エンパワメント:障害のある方の長所、強さに着眼し、当事者の希望に向けて支援者と相互に力を高めながら主体的に取り組めるようになること

年度	開催回数	延べ参加人数	内容
R3	5	43	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座（*） 自立促進当事者ミーティング（*） 家族支援講座（*）
R2	6	29	社会生活技能訓練(SST)講座（*） 身を守る講座（*） 自立促進当事者ミーティング（*） 生活力アップ講座（*） 家族支援講座（*）

\*は福祉研修センター研修一覧表再掲

#### イ 意思決定サポート事業

意思形成サポートとして、当事者が新たな環境で過ごすイメージ作りのためにオンラインでのグループホーム見学を実施した。また、意思表出サポートとして、重症心身障害児者を支援する市内障害福祉サービス事業所の一部を対象に、意思決定支援の具体的な取組についてヒアリングを実施した。

年度	内容	合計
R3	オンライングループホーム見学	45人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取組に関するヒアリング調査	2事業所
R2	家族向け講座	5人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取組に関するヒアリング調査	2事業所

#### (4)関係機関等との連携

内容	参加回数
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進に係る広域アドバイザー	4
ひきこもり支援ネットワーク連絡会	3
相模原市高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会	3
権利擁護支援のための地域連携ネットワーク協議会	2
重症心身障害児者ネットワーク	3
相模原市障害者差別解消支援地域協議会	1
高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会	1

## 6 障害者一時ケア事業

### 1 事業概要

障害児・者の家族が、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や日ごろの介護疲れを解消し休息やゆとり(レスパイト)をとるため、障害児・者を一時的に介護した。

新型コロナ感染対策に留意し、利用者が安全で、安心して過ごせる環境を提供した。また、スタッフには健康管理と衛生管理を徹底し、利用者の家庭にも日ごろの健康管理や、利用開始時の検温等健康チェックの協力を依頼した。

### 2 事業内容

#### (1)登録状況(3月末日現在)

##### ア 登録者の状況

年度	登録者数	うち新規登録者数
R3	286	4
R2	282	13

##### イ 障害別の登録者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R3	7	69	101	109	0	286
R2	7	68	101	106	0	282

##### ウ 年齢別登録者数

単位:人

年度	6~11歳	12~14歳	15~17歳	18~30歳	31歳以上	合計
R3	39	24	27	128	68	286
R2	38	22	26	128	68	282

#### (2)利用状況

午前8時30分から午後10時まで開所した(緊急事態宣言下は原則午後8時までとした。)

##### ア 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R3	356	1,170	3.3人	6時間08分
R2	356	1,204	3.4人	5時間58分

##### <休日の状況(内数)>

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R3	115	793	6.9人	6時間59分
R2	113	772	6.8人	7時間04分

##### イ 障害別の延べ利用者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R3	0	203	603	364	0	1,170
R2	7	220	543	434	0	1,204

※その他は精神障害等

ウ 年齢別延べ利用者数

単位:人

年度	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～30歳	31歳以上	合計
R3	80	33	144	628	285	1,170
R2	90	57	192	626	239	1,204

(3)医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R3	10	50	144
R2	7	33	193

(4)困難要因のある利用者の利用状況

年度	対象者数	延べ利用者数
R3	30	222
R2	29	226

※困難要因のある利用者:複数の職員による対応が必要な方や他の事業所利用が難しい方

(5)登録者及び家族への情報提供

レスパイト便りの発行:年1回(12月)・277部

(6)職員研修の実施

利用者の個々のニーズに合わせたケアを行うため、職員の知識や技術の向上を目的に、非常勤職員等を対象にした研修会を実施した。

年度	回数	延べ参加者数	内容
R3	25	116	○「自閉症の方とその家族の思いを知る」をテーマに DVD の視聴及びグループワーク等を行った。感染対策のため少人数で計5回実施し、延べ42人のスタッフが参加した。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計20回(延べ74人参加)行った。
R2	22	114	○「障害児・者への虐待防止」をテーマに少人数で DVD の視聴等を行った。延べ34人のスタッフが参加した。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計21回(延べ80人参加)行った。

(7)非常勤職員向け情報紙の発行

新型コロナ感染症への対策など事業実施にあたっての最新情報(トピックス)、ケアにおける必要な知識、スタッフのケアへのモチベーション向上を目指して利用者からの声などを掲載した情報紙「ケアの達人」を発行し、一時ケア事業について意思統一を図り、事故防止に役立てた。(年3回・計222部)

(8)障害者一時ケア事業所連絡会の実施

市内の障害者一時ケア事業所の利用者の安全確保を目的に、各事業所における新型コロナ感染症への対策や事業実施状況と課題を共有した。

実施月	内容	参加事業所等
12月	・現状と課題 ・情報交換	相模原市高齢・障害者支援課 松が丘園一時ケア事業
3月	・各事業所の感染症対策と好事例 ・現状と課題	ふれあいデイホーム もみの木ホーム

## 7 発達障害支援センター就労支援事業

### 1 事業概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行う事業を実施することにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図るとともに、各種評価手法を活用したアセスメント機能の充実を図り、就職支援に係る支援計画の作成、地域の支援機関への情報提供の拡充等、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」、「障害者就業・生活支援センター事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

### 2 事業内容

#### (1)実施状況(障害者地域就労援助センター事業報告の一部再掲)

年度	相談件数(延べ件数)	相談人数(延べ人数)	就労者数
R3	1,234	560	11
R2	1,303	651	13

\*就労継続支援A型事業所への就労者は含まない

#### (2)ケース検討会・発達障害支援センター支援検討会議への出席

年度	出席回数
R3	48
R2	49

#### (3)発達障害支援センターでのインテーク面接対応件数

年度	対応件数
R3	9
R2	8

#### (4)グループワークの実施

##### ①職場対人技能トレーニング(JST)等の実施

発達障害支援センターと共同で、発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング(JST)」「職場体験実習」「職場体験実習振り返り」をグループワークで実施した。

令和3年度は、オンラインによるJSTを実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R3	2	2
R2	2	6

##### ②企業就労者向け職場対人技能トレーニング(JST)の実施

障害者雇用を行う企業等を対象として、当該企業で働く発達障害者の研修、企業に対する技術伝達及び啓発のため、職場対人技能トレーニング(JST)を実施した。

実施日	実施企業	参加人数
10月14日、18日	(株)ニコンつばさ工房	5

(5)就労準備セミナーの実施

発達障害者の家族及び関係機関職員に対して、様々な情報を得られる機会を提供し、就労支援の現状の理解促進を図ることを目的として、事前に撮影をした動画を配信するオンデマンド方式によるセミナーを実施した。

日 時	申込者数	動画再生回数
3月25日～31日	11	40回

(6)職業評価の実施

ワークサンプル幕張版(作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査、略称:MWS)を活用した職業評価を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R3	5	5
R2	5	5

自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール(知的障害のある自閉症者を対象に、地域生活に必要なスキルの評価を行う検査・略称:TTAP)を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R3	5	5
R2	8	8

(7)関係機関等との連携

内 容	参加回数	日 時
発達障害者支援地域協議会 本会議	2	第1回 7月8日 第2回 1月20日
発達障害者支援地域協議会 成人期部会	2	第1回 9月2日 第2回 2月22日
学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業 連絡協議会	3	第1回 7月16日 第2回 11月5日 第3回 1月21日

(8)研修講師対応

依頼元	実施日	内 容
相模原市立療育センター陽光園	2月8日	令和3年度相模原市立療育センター陽光園特別講座 ライフスキル講座② 「ライフスキルの獲得度と就労の関係性の実際」

## 8 障害者相談支援キーステーション事業

### 1 事業概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、緑区と南区にある障害者相談支援キーステーションの運営を行った。コロナウィルスの感染拡大を防止するため、訪問のほか電話等による相談支援を実施した。また、ケース会議等は密にならない工夫をするとともに、オンラインを積極的に活用し、実施した。

### 2 事業内容

#### (1) 緑障害者相談支援キーステーションの状況

##### ア 実施内容

場所	緑区合同庁舎2階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	緑区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区在住の障害者の総合的な相談窓口</li> <li>・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など)</li> <li>・区内関係機関の調整</li> </ul>

##### イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人かながわ共同会	1名	週5日
	社会福祉法人かわせみ会	1名	週5日

##### ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 3	2,673	114	1,528	258	243	1,063	460	1,012
R 2	2,849	82	1,755	281	78	780	830	1,351

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 3	689	64	149	0	2,810	11,063
R 2	528	58	136	59	2,845	11,632

## (2)南障害者相談支援キーテーションの状況

### ア 実施内容

場所	南保健福祉センター1階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	南区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区在住の障害者の総合的な相談窓口</li> <li>・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など)</li> <li>・区内関係機関の調整</li> </ul>

### イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人県央福祉会	1名	週5日
	特定非営利活動法人エヌピーオーかむ	1名	週5日
	社会福祉法人すずらの会	1名	週5日

### ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 3	2,672	689	1,248	1,523	29	1,652	340	3,177
R 2	2,243	727	1,703	1,731	22	1,661	368	2,553

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 3	685	175	123	32	2,033	14,378
R 2	872	58	58	41	1,596	13,633

## (3)ケース会議、グループスーパービジョンの実施回数

官民協働のチームで包括的に支援することを目的に、所在区の高齢・障害者相談課、保健福祉課とケース会議を行った。また、支援困難ケース等に対し、福祉の枠組みだけではない新たな支援方法や地域課題の抽出、官民協働、民民連携を目的に、オンラインを活用しグループスーパービジョン(支援者間でケースに対し意見を出し合い、良い解決策や対応方法を検討する会議)を行った。

年度	ケース会議		グループスーパービジョン	
	緑	南	緑	南
R 3	54回	45回	11回	12回
R 2	45回	48回	13回	6回

## (4)面接トレーニング

面接技術向上を目的に、面接場面のロールプレイをビデオ撮影し、それを基に振り返りを行った。コロナウィルス感染拡大防止のためオンラインも活用し少人数のグループで実施した。

年度	面接トレーニング
R 3	7回
R 2	6回

(5)相談支援事業所支援

区内の相談支援力向上を目的に、支援困難ケース等に対応する相談支援事業所に対して、支援方法及び考え方の検討や助言などの支援を行った。

年度	緑	南
R 3	22 件	19 件
R 2	13 件	20 件

(6)弁護士による助言相談

神奈川県弁護士会と連携し、支援方法等について法的な視点から助言を受ける取組を行った。

年度	助言相談
R3	8 件
R2	10件

(7)地域包括支援センター(高齢者支援センター)との連携

各地域の地域包括支援センター(高齢者支援センター)との連携を強化するため、新たな取組として地域ケア会議等への参加や情報交換、訪問などを行った。

年度	緑	南
R3	37 件	16 件

(8)関係機関等との連携

内容	参加回数	地区
民生委員児童委員協議会定例会 (橋本、相模湖、藤野、大沢、城山)	5	緑
社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	4	緑
地域ケア推進課主催「住民支援の体制づくりにむけての検討会」	4	緑
東林第2地区地域ケア会議地域づくり部会	2	南
東林地区地域ケア会議第1・第2地区合同地域づくり部会	1	南
精神障害者支援機関ネットワーク	2	南
緑区地域精神障がい者支援ネットワーク	2	緑
藤野包括支援センター個別事例部会	1	緑
相原包括支援センター個別事例部会	1	緑

## 9 けやき体育館

### (1)けやき体育館管理・運営事業

#### 1 事業概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出しを行った。貸出しに当たっては、「相模原市立けやき体育館 貸館再開に係る実施要項」に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組みながら、障害者が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援した。

緊急事態宣言の期間中においては、市の要請を受け休館とした。休館中は、照明や換気扇の修繕、検温モニターおよびCO2モニター設置など、利用者が安心して利用できるよう感染症対策を強化し、受入れ体制の整備を行った。

けやきカフェの経営については、けやき体育館来館者への食事と憩いの場の提供という目的のほか、就労を目指す障害者を対象にした就労体験実習の場としての活用を図り、障害者の社会参加を支援した。

また、障害者支援センター松が丘園との連携事業として、「障害者地域就労援助・けやき相談センター」を設置し、障害者地域就労援助センター事業の拡充及び機能強化を図った。

#### 2 事業内容

緊急事態宣言の期間中、8月6日から9月30日まで休館とした。また、感染拡大防止のため、4月1日から19日、10月1日から24日を21時までの時短開館、4月20日から8月5日までは20時までの時短開館とした。施設貸出しに当たっては、利用人数の制限(通常の定員の半数、激しい運動をする場合は、さらに定員数減)を設け、検温や消毒等の感染症拡大予防対策を行った。

#### (1)利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R3	利用回数	797.5	418	376	269	348	2,208.5
	(うち減免利用)	(637.5)	(245)	(311)	(165)	(303)	(1,661.5)
	利用率	92.0%	48.2%	43.4%	31.0%	40.1%	50.9%
R2	利用回数	495.5	252	240	139	267	1393.5
	(うち減免利用)	(355)	(137)	(173)	(62)	(238)	(965)
	利用率	80.3%	40.8%	38.9%	22.5%	43.3%	45.2%

#### (2)利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R3	利用人数(延べ)	15,254	3,086	3,913	2,039	3,312	27,604
	(うち障害者)	(6,554)	(1,030)	(1,689)	(457)	(1,379)	(11,109)
R2	利用人数(延べ)	9,641	2,064	2,819	973	2,828	18,325
	(うち障害者)	(4,000)	(678)	(1,009)	(101)	(1,240)	(7,028)

### (3)個人利用

感染症拡大防止の観点から、前年度より休止していた個人利用を10月より再開した。障害者団体の活動状況を踏まえ、開催日の見直しを行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策として、利用人数の制限や事前予約制など、利用者が安全に安心して利用できるよう、運営方法の見直しをして実施した。

内容	実施日	大人		小人		合計
		障害者	その他	障害者	その他	
バドミントン	12	1	18	0	8	27
卓球	12	4	50	0	0	54
合計	—	5	68	0	8	81

### (4)けやき体育館・けやき会館合同防災訓練の実施

#### ア 第1回総合防災訓練

- ① 実施日 12月9日(木)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 訓練内容 大規模地震発生想定。避難誘導、伝達・通報、及び消火器等操作訓練

#### イ 第2回総合防災訓練

- ① 実施日 3月29日(火)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 研修内容 消火訓練(消火器の配置場所確認)、図上訓練(避難経路図で避難手順の確認)

### (5)福祉求人閲覧コーナーの設置

松が丘園の施設支援事業と連携し、けやき体育館への一般来場者が障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できるよう、福祉求人閲覧コーナーを設置した。

### (6)けやきカフェの経営

新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施すべき事項を定めた「けやきカフェ再開に係る実施要項」に基づき、座席数及び入店人数の制限を行うなどの感染症対策を取りながら、けやきカフェを運営した。また、簡易容器によるテイクアウト販売、松が丘園のパンの予約販売を行った。

ア 営業日:月曜日から金曜日まで。障害者余暇活動支援事業イベント開催時の土日臨時営業。

イ 営業時間:午前11時30分から午後2時30分まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売上	一日平均売上
R3	242	2,158,920 円	8,921 円
R2	149 ※ 4/1~6/18、1/13~3/8 は休業 ※ 3/9~3/19 はテイクアウトのみ営業	1,306,008 円	8,765 円

※けやき体育館休館に伴い、8月6日~9月30日までの間はテイクアウトのみ営業。

#### エ 障害者就労体験実習の受入れ

年度	日数	人数
R3	43	10
R2	17	4

(7)障害者地域就労援助・けやき相談センターの運営

松が丘園との連携事業として、ハローワーク相模原、市役所及びウェルネスさがみはらと近い立地であるけやき体育館の利便性を活かし、利用者がより相談しやすい環境を作るため、障害者地域就労援助センターのランチ機能として就労相談窓口「障害者地域就労援助・けやき相談センター」を設置した。10月1日より窓口を設置し、新規の相談として2件の対応を行ったほか、就労援助センターと連携した相談を44件実施した。

(8)新型コロナウイルス感染症対策による施設修繕の実施

相模原市指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金の交付決定を受け、1階手洗い場の自動水栓化、2階教養室にロスナイ(換気システム)の設置などの修繕を行った。

## 9 けやき体育館

### (2)障害者余暇活動支援事業

#### 1 事業概要

障害者がスポーツや余暇活動により、日常の生活をより楽しんで充実できるよう、パラスポーツ大会の支援、専門的なスポーツ指導体制の整備を図るとともに、スポーツ講座や文化講座および各種イベントを行った。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施すべき事項を定めた「けやき体育館主催 障害者余暇活動支援事業(各種講座・イベント等)の再開に係る実施要項」に基づき、検温や消毒の実施、人数制限および文化講座の体育室での開催など、感染症対策を取りながら実施した。一部講座は ZOOM によるオンライン講座と対面講座を同時進行で実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛を余儀なくされている中、障害者がスポーツや余暇活動により、日常の生活をより楽しんで充実できるよう「おうち時間」で出来る余暇活動(作品制作等)の提供を行った。

#### 2 事業内容

##### (1)スポーツ講座の実施

新型コロナウイルス感染症対策として、一部講座を ZOOM によるオンラインと対面の同時開催で行った。

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操↑ (対面および ZOOM によるオンライン講座)	7 ※1	54	6	17	77
元気にパワーアップ体操	3 ※2	40	0	20	60
レッツ♪ストリートダンス	3	34	4	15	53
楽しく♪エアロビクス	3	45	2	23	70
合計	16	173	12	75	260

※1 9月実施分の対面講座は中止のため、対面は6回実施。オンライン参加は1事業所。

※2 9月実施分は中止となり、当初予定より1回減となっている。

##### (2)ふれあい文化講座の実施

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
楽しく♪音楽&リズム	3	43	4	20	67
合計	3	43	4	20	67

##### (3)イベントの実施

「アートラボはしもと」とのコラボイベントなど、障害のある方が楽しく過ごせるよう各種イベントを実施した。

単位:人

内容	実施日	障害者	ボランティア	付添い	合計
アートラボはしもとコラボイベント 「ポッチャボールを作って遊ぼう！」	1月16日(日)	10	5	6	21
日本文化に触れよう～落語～ (公益財団法人相模原市民文化財団協力)	1月29日(土)	12	3	6	21
合計	2	22	8	12	42

##### (4)「きままシリーズ」の実施

休日の過ごし方がわからない、運動をしたいが相手がいない、対人で将棋を指したいが相手がいない等の困り感を抱えている障害のある方を対象に、ボランティアと一緒に楽しむ「きままに〇〇」「ふらっとアート」を実施した。実施に当たっては、事前予約なしで、当日好きな時間に好きな時間だけ参

加できる、参加者に負担のない気軽に参加できる事業として実施した。

「きままにカローリング&ポッチャ」は、障害の理解促進及びパラスポーツの普及啓発を図るため、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加出来ることとした。また、実施に当たっては、地域活動団体との連携として、相模原市レクリエーション協会の方々に協力を依頼した。

単位：人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
きままに卓球&バドミントン	7	68	27	14	109
きままに将棋デイ	7	34	18	0	52
ふらっとアート	7	25	1	7	33
きままにカローリング&ポッチャ	7	27	47	47	121
きままにスポーツ	2	22	8	7	37
合計	30	176	101	75	352

※ 8月、9月実施分は中止となり、当初予定より各2回減となっている(きままにスポーツを除く)。

#### (5)パラリンピック応援企画

東京2020パラリンピック競技大会及び北京2022パラリンピック競技大会の応援企画として、各種競技の紹介をするとともに、「パラアスリートを応援しよう」を合言葉に応援メッセージやイラスト等の作品を募集し、「アートラボはしもと」に制作していただいたオリジナル聖火台に装飾し、けやき体育館内で掲示した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、聖火リレートーチの展示を行った。

##### ア おうち時間応援企画「みんなでパラアスリートを応援しよう」

内容	作品募集期間	展示期間
TOKYO2020 パラリンピックを楽しもう！	8月19日(木)から 9月30日(木)まで	8月24日(火)から 10月31日(日)まで
北京2022 冬季パラリンピックを楽しもう！	3月1日(火)から 3月31日(木)まで	3月1日(火)から 4月30日まで

##### イ 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ展示

1月24日(金)から2月6日(日)までの間、けやき体育館内に「東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ」を展示した。希望される方には、実際に手に取っていただき、写真撮影を行った。

#### (6)おうち時間応援企画

新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない中、障害のある方がそれぞれ地域で余暇を楽しむよう、春をテーマにした作品を募集した。

内容	作品募集期間	展示期間
ポカポカおさんぽ日和 春を探そう！ 作品募集	3月25日(金)から 4月30日(土)まで	4月1日(金)から 5月10日(火)まで

#### (7)けやき体育館で活動する障害者団体の紹介

障害者週間に合わせ、けやき体育館でスポーツ・文化活動をする障害者団体の動画を撮影し、Twitterで紹介した。(4団体)

#### (8)けやき体育館装飾ボランティア

けやき体育館内の装飾ボランティアを募集し、クリスマスの装飾(折り鶴のサンタクロース制作)などに協力していただいた。

(9)自主サークル活動支援

育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

対象サークル	実施回数	延べ参加者数	
		障害者	ボランティア
手芸サークル あむあむ	9	12	9
ボウリングサークル ターキーズ	8	24	12
バスケットサークル 松が丘 BULLS	28	240	29
サッカーサークル 相模原 FC 松が丘	22	240	46
合 計	67	516	96

(10)ボランティア確保に向けての動き

登録ボランティアを対象に情報交換や相互の交流を目的とするボランティア交流会を実施するなど、障害者の余暇活動を支えるためのボランティア確保に努めた。

ア ボランティア登録者数(3月末現在)

年度	登録ボランティア者数
R3	38 (うち新規登録者数 6名)
R2	32 (うち新規登録者数 1名)

イ ボランティア交流会の実施

実施日	参加者数
3月19日	3名

(11)パラスポーツ普及啓発事業の実施

東京2020パラリンピック競技大会正式種目であるボッチャ競技の大会開催、車いすテニスなどパラスポーツの体験会開催のほか、さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会の委員として、イベントに参加した。また、地域のパラスポーツ体験会へ訪問指導を行うなど、パラスポーツの普及に努めた。

ア パラスポーツ体験会

内容	実施回数	延べ参加者数	
		参加者	ボランティア
ボッチャ体験会	5	59	2
ボッチャ練習会(大会参加希望者対象)	3	9	0
車いすテニス体験会	2	46	13
車いすバスケットボール体験会	2	45	3
けやきウィーク in パラスポーツ体験会 車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、ボッチャ、 フライングディスク	1	20	3

イ パラスポーツ大会の実施

東京2020パラリンピック競技大会の正式種目であるボッチャ競技の大会を開催した。開催に当たっては、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できることとし、地域の方と一緒に楽しく交流できる場とした。

内容	実施日	参加チーム数
第2回ボッチャ大会～けやき杯～	12月5日(日)	8

ウ さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会

内容	実施日
さがみはら“ゆめ”プロジェクト 2022～テニスを通じて共生社会の夢一歩～	2月27日(日)

エ パラスポーツ訪問指導

内容	実施日
横山公民館高齢者学級「ボッチャをやってみよう！」	6月3日(木)
神奈川県立相模原総合高等学校 「介護福祉基礎」「社会福祉基礎」※ボッチャ体験指導	6月23日(水) 6月25日(金)
新磯公民館こども体験教室「パラリンピックの競技を体験してみよう」 ※ブラインドサッカー体験指導	7月31日(土)
作の口児童クラブ ボッチャ体験会	10月20日(水)
中央公民館 ボッチャ体験会	10月24日(日) 11月7日(日)
脳活クラブ ボッチャ体験会	12月8日(水)
障害者支援センター松が丘園多機能型事業所 ボッチャ体験会	3月8日(火) 3月9日(水)

※ 東林間公民館福祉まつり ボッチャ体験コーナーへの訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(12)情報提供

「けやき体育館通信」及び事業団ホームページを活用し、障害者スポーツやレクリエーション等の情報提供を行うとともに、サークル活動・障害者団体等の活動情報提供を行った。

また、Twitter(アカウント名:けやき体育館)を利用し、即時性のある情報等の周知に活用した。

ア けやき体育館通信発行 6回

イ Twitter ツイート回数 237回

ウ けやき体育館公式 YouTube チャンネル「けやき体育館ちゃんねる」開設

# 社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団 令和3年度 福祉研修センター 研修実施状況報告

〔障害福祉サービス事業所等職員対象〕

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数			
		所属等	氏名							
基礎Ⅰ 障害福祉基礎研修	A1	障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内孝行氏	基礎	7月26日(月)午後2時から午後4時まで	オンライン	24	100	
		フォローアップ障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内孝行氏	基礎	11月18日(木)午後2時から午後4時まで	オンライン	12		
	A2	障害者の理解	東光福祉会	高瀬洋次氏	基礎	7月20日(火)午後2時から午後4時まで	オンライン	14	19	
	A3	障害児福祉制度の基礎	社会福祉士	速達史朗氏	基礎	9月21日(火)午後2時から午後4時まで	オンライン	18		
	A4	障害者の理解	児童発達支援センターいっほ	南沼浩一朗氏	基礎	6月4日(金)午後2時から午後4時まで	オンライン	14		
	A5	フォローアップ障害者の理解	鶴見大学	河合高毅氏	基礎	5月14日(金)午後2時から午後4時まで	オンライン	15	93	
	A6	相模原市の障害福祉制度	相模原市障害者・障害者相談員	飯沼氏、渡邊氏	基礎	10月8日(金)午後2時から午後4時まで	オンライン	10		
	A7	最終の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村あおい氏	基礎	8月27日(金)午後2時から午後3時30分まで	オンライン	18	18	
	A8	虐待防止・権利擁護研修①	養正社	武蔵光氏	基礎	1月8日(土)午前10時から正午まで	オンライン	27	23	
	A9	虐待防止・権利擁護研修②	養正社	武蔵光氏	基礎	9月27日(月)午後5時30分から午後7時30分まで	オンライン	45	21	
	A10	虐待防止・権利擁護研修③	健康カウンセラーNAC	川口智子氏	基礎	10月27日(月)午後5時30分から午後7時30分まで	オンライン	27		
	A11	虐待防止・権利擁護研修④	養正社	武蔵光氏	基礎	11月26日(金)午後6時00分から午後8時00分まで	オンライン	15		
	A12	虐待防止・権利擁護研修⑤	さつき学園、第三けやき、虹の家		基礎	12月17日(金)午後2時30分から午後3時30分まで	オンライン	26		
	A13	地域福祉と包括的支援体制	相模原市社会福祉協議会	榎原貴一郎氏	基礎	6月18日(金)午後2時から午後3時まで	オンライン	18		
	A14	フォローアップ研修地域福祉と包括的支援体制	相模原市地域包括ケア推進課	原中氏、杉岡氏	基礎	9月19日(木)午後2時から午後3時まで	オンライン	10		
	A15	精神保健福祉制度の基礎	精神保健福祉センター	小池尚志氏	基礎	7月2日(金)午後2時から午後3時30分まで	オンライン	24	51	
	B1	ストレングス・コンパニオンメントを知る	相模原市社会福祉事業団	小林麻衣子氏	基礎	7月1日(木)午後2時から午後4時まで	オンライン	12	9	
	B2	相模原市の福祉支援体制と障害者自立支援協議会	相模原市社会福祉事業団	小林氏、北澤氏	基礎	1月11日(火)午後3時から午後5時まで	オンライン	34		
	B3	ソーシャルワークの基礎	田原医科大学	松本美子氏	基礎	10月12日(火)午後2時から午後4時まで	オンライン	15		
	B4	記録の方法	カブナ食生活	小川陽氏	基礎	6月26日(土)午前10時から正午まで	オンライン	12	15	
	B5	対人援助技術	桜美林大学	谷内孝行氏	基礎	5月20日(木)午前10時から正午まで	少人数研修	19		
	B6	面接相談技術	みやぎのケアセンター	片柳光昭氏	基礎	7月10日(土)午後1時から午後3時まで	オンライン	12	10	
	B7	精神障害者の支援を考える	なでしこクリニック	白石弘日氏	基礎	1月7日(金)午後3時から午後5時まで	オンライン	20		
	B8	グループワークの方法	みやぎのケアセンター	片柳光昭氏	基礎	9月11日(土)午後1時から午後5時まで	オンライン	3	8	
	B9	コミュニケーションワーク	日本医科大学	村井祐一氏	基礎	9月7日(火)午後2時から午後4時まで	オンライン	14		
	C1	チームアプローチ	田原女子大学	久田則子氏	基礎	7月12日(月)午前10時から午後3時まで	オンライン	11		
	C2	コミュニケーション技術	話し方教育センター	松岡直氏	基礎	9月28日(火)午後1時から午後5時まで	オンライン	7		
	C3	新型コロナウイルスにおけるメンタルヘルスマネジメント	みやぎのケアセンター	片柳光昭氏	基礎	3月6日(日)午前10時から正午まで	オンライン	7		
	基礎Ⅱ 支援技術向上研修(共通)	D1	就労援助セミナー	相模原市障害者就業・生活支援センター	森澤桂子氏	応用	2月25日(金)午後3時から午後5時30分まで	オンライン	9	
		E1	相模原の地域課題を考えよう	筑波大学大学院教授	小澤温氏	応用	12月6日(月)午後2時から午後5時まで	オンライン	41	
		E2	家族支援	長谷川メンタルヘルス研究所	渡辺安一郎氏	応用	12月9日(木)午前10時から正午まで	オンライン	13	
		E3	法務連携を目指して	司法書士	藤島久美子氏	応用	9月15日(水)午後2時から午後4時まで	オンライン	8	
		F1	面接トレーニング①	長谷川メンタルヘルス研究所	渡辺安一郎氏	応用	8月5日(水)午前10時から正午まで	オンライン	5	
面接トレーニング②			長谷川メンタルヘルス研究所	渡辺安一郎氏	応用	9月17日(金)午前9時から正午まで	オンライン	10		
面接トレーニング③			長谷川メンタルヘルス研究所	渡辺安一郎氏	応用	10月15日(金)午前9時から正午まで	オンライン	9		
面接トレーニング④			長谷川メンタルヘルス研究所	渡辺安一郎氏	応用	11月8日(金)午前9時から正午まで	オンライン	10		
F2		検査について～基本的な知識と実際の紹介について～	昭和大学産学部	渡邊真礼氏	応用	9月9日(木)午後5時30分から午後7時30分まで	オンライン	28		
		検査について(応用編)	昭和大学産学部	弘中祥司氏	応用	9月30日(木)午後5時30分から午後7時30分まで	オンライン	32		
特別研修		G1	新しい生活様式に合わせた支援のありかた	全国手をつなぐ育成会	又村あおい氏	応用	12月4日(土)午前10時から正午まで	オンライン	8	
	G3	産の健康づくり	相模原市健康推進課	飯沼氏、稲子氏	応用	6月22日(火)午後2時から午後3時まで	オンライン	15	19	
	H1	はじめてのZoom/Zoomのいろは	相模原市社会福祉事業団	佐藤 聖子	応用	4月21日(水)午後2時から午後3時まで 5月12日(水)午後2時から午後3時まで	オンライン	11	15	
研修のための研修	H2	オンライン会議のファシリテーション	話し方教育センター	神沢松孝氏	応用	6月30日(水)午後1時から午後5時まで	オンライン	7		
	H3	オンライン研修・講座の企画をしてみませんか	福祉研修センター	佐藤聖子	応用	適宜	オンライン	3		
	H4	オンライン研修のためのリラクゼーション	日本体操研究所	早岡亮一氏	応用	3月30日(水) 午前10時から10時30分まで 午後4時30分から午後5時まで	オンライン	29		
法定研修	I1	強要行動障害者支援者養成研修	横浜やまびこの里ほか	特命 特命 特命	2月23日(月)午前9時30分から午後5時30分まで 3月1日(火)午前9時30分から午後5時30分まで 6月3日(木)午後2時から午後5時まで	対面研修	28	28		
障害福祉基礎研修・市民向け講座	障害者等研修(昨年度延期分)	桜美林大学	谷内孝行氏	基礎	3月30日(水) 午前10時から10時30分まで 午後4時30分から午後5時まで	対面研修	28	27		
※ 研修対象者の目安(基礎:主に職歴経年1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職歴経年4年以上の職員を対象)								849		

〔障害当事者、家族等向け〕

区分	研修名	講師	実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数		
障害当事者向け研修	J1	お金の扱い方を考えてみよう	さがみはら成年後見あしんセンター	藤田昌行氏	2月10日(木)午後1時30分から午後2時30分まで	オンライン	13	
	J2	自立促進当事者ミーティング			8月29日(日)午前10時30分から午前11時30分まで	オンライン	5	2
家族等向け研修	K1	子のこれからについてみんなで考えてみませんか	日本福祉大学中央福祉専門学校教員	松本和真氏	11月12日(金)午前10時から正午まで	オンライン	8	9

〔市民等向け〕

区分	研修名	講師	実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
市民等向け講座	L1	新しい生活様式に合わせた支援のありかた	全国手をつなぐ育成会	又村あおい氏	G1再掲	オンライン	12
	L2	Zoom初心者セミナー	福祉研修センター	佐藤 聖子	10月29日(木)午後2時から午後3時	オンライン	12

12  
886名

